

## <弓道部>

### 弓道場の環境整備



#### 実施前

- ・本校の冬囲いはここ数年、木材の柱とベニヤ板、断熱材を用いて、アジャスターで取り外しが可能な状態にしている。
- ・矢を飛ばす窓の部分はビニールなので経年劣化で交換が必要であり、断熱効果も低いのでポリカボードに交換することを考えた。



#### 実施中

- ・実際にどの位置に的があり、身長が高い生徒、低い生徒も共に安全に利用ができるかヒアリングしながら窓枠の位置を決めた。
- ・既存の柱と組み合わせて、次年度も継続して使用でき、取り外しができるという観点を大切にすることができた。



#### 実施後

- ・断熱効果が高まり、非常に喜ばしい。
- ・燃料費の節約にもつながり、環境や県の財政への配慮も兼ねている。
- ・同時に購入した重量ブロックを組み合わせることで、写真のように厳冬期にそれぞれの身長に合わせ、巻き藁稽古に安全に臨むことが出来る。

- ・部員が部活動で毎日使用する場所であるため、最後まで自発的・意欲的に作業を行うことができた。
- ・公共物としての学校施設への愛着が一層深まり、大切に利用する心が涵養できた。